

講義録レポート

講義録コード

11-07-2-501-04

講 座	証券アナリスト	科目①	H
目標年	2007年合格目標	科目②	直近の1次過去本試験問題から知る、 2次対策へのプロローグ《経済》
コース	2次セミナー	回 数	回
用 途	☒ 個別DVD ☒ テープレクチャー ☐ 集合ビデオ ☒ WEB ☐ 衛星 ☒ カセット通信 ☒ DVD通信 ☐ 資料通信		

収録日	2007 年 6 月 27 日		
講師名	小川 先生	講義録 枚数	3 枚 ※レポート 含まず
		補助レジュメ 枚数	5 枚 (サイズ)

講義構成	講義 (59) 分		
使用教材			
配布物	有 ☒ 無		
正誤表	有 ☒ 無 枚		
備考			
	☐ 共通レジュメ 有 ☒ 無 第 () 回講義と共通		

TAC証券アナリスト講座

証券アナリスト講義録

科目

経済

コース

2次セミナー(H)

回数

—

配布物

★ミニテスト：あり [] なし
★実力テスト：あり [] なし
◇配布物なし

★答 練：問題用紙・解答用紙・解答解説
★その他のレジュメ []

講師

小川

先生

テキスト
ページ

黒板内容

2次セミナー (H) 経済

1. 2次経済

(基礎)

(1) 1次で学習した経済理論がベース

(2) 現実経済 (歴史)

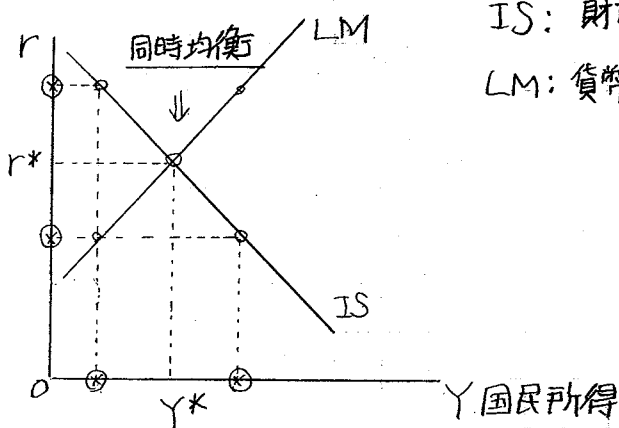
(3) 時事的なテーマ (現在～将来)
協会テキスト, 経済財政白書

2. 昨年の出題内容 ～ 財政政策と財政赤字

◎ IS-LM分析

⇒ 財政・金融政策の効果分析

IS-LM

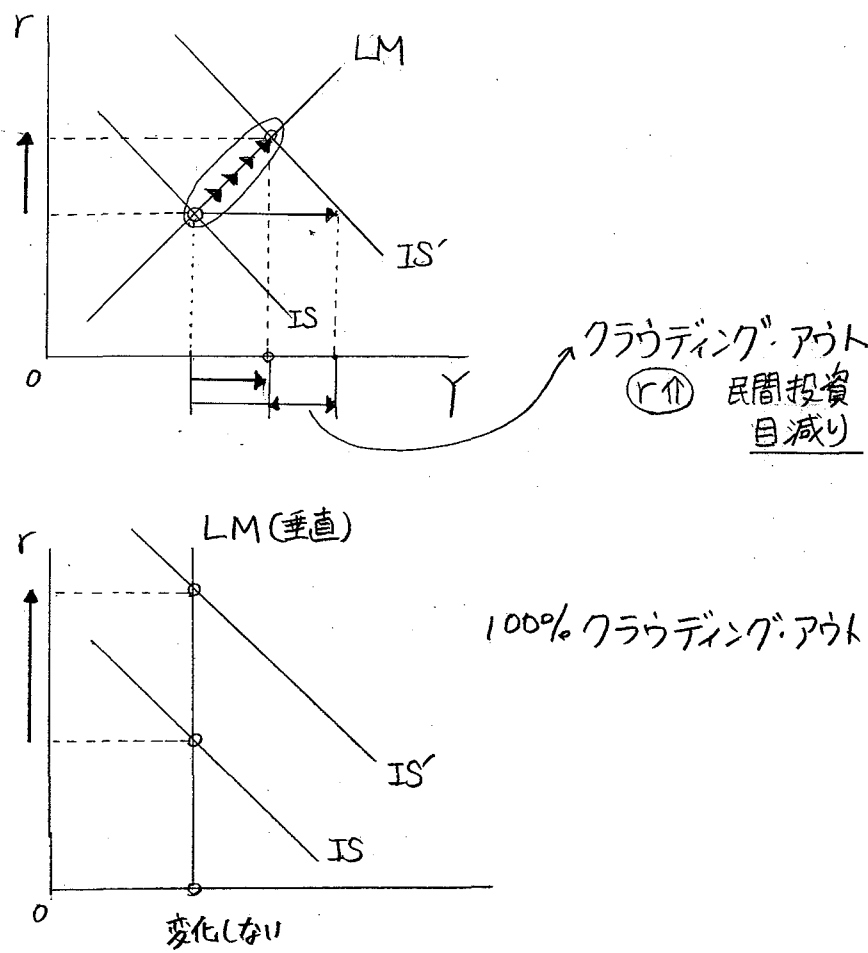


IS: 財市場 ⇒ $GDP(Y)$
アウトプット

LM: 貨幣市場 ⇒ 利率(r)
アウトプット

証券アナリスト講義録	科目 経済	コース 2次セミナー(H)	回数	—
------------	-------	---------------	----	---

配布物	★ミニテスト：あり [] なし ★実力テスト：あり [] なし ◇配布物なし	★答 練：問題用紙・解答用紙・解答解説 ★その他のレジュメ []	講師 小川 先生
-----	--	--------------------------------------	----------

テキスト ページ	黒 板 内 容
	 クラウディング・アウト ($r \uparrow$) 民間投資 目減り 100% クラウディング・アウト 変化しない

証券アナリスト講義録	科目 経済	コース 2次セミナー(H)	回数	—
------------	-------	---------------	----	---

配布物	★ミニテスト：あり [] なし ★実力テスト：あり [] なし ◇配布物なし	★答 練：問題用紙・解答用紙・解答解説 ★その他のレジュメ []	講師 小川 先生
-----	--	--------------------------------------	----------

テキスト ページ	黒 板 内 容
	◎ 中立命題 異時点間消費理論 ライフサイクル仮説 消費 = $f(\text{生涯所得})$ 現在 ⊕ 将来 減税 国債 増税 ◎ 成長会計 (今年出題) ⇒ 供給サイドの視点 (生産) ・ 資本ストック } 生産要素 ・ 労働力 コブ=ダグラス型生産関数 $Y = A \cdot K^\alpha \cdot N^{1-\alpha}$ 技術進歩 (資本貢献) Y: GDP (生産量) α: 資本分配率 K: 資本ストック $1-\alpha$: 労働分配率 N: 労働投入量 ($0 < \alpha < 1$) ⇒ $\frac{\Delta Y}{Y} = \frac{\Delta A}{A} \oplus \alpha \cdot \frac{\Delta K}{K} \oplus (1-\alpha) \cdot \frac{\Delta N}{N}$ デルタ(増分) 効率増進 $\frac{\Delta A}{A} = \frac{\Delta Y}{Y} \ominus \left\{ \alpha \cdot \frac{\Delta K}{K} + (1-\alpha) \cdot \frac{\Delta N}{N} \right\}$ 解答(計算過程) 数値 問題文に与えられている

証券アナリスト試験

《2次セミナー（H）》

直近の1次過去本試験問題から知る、
2次対策へのプロローグ 〔経済〕

T A C 証券アナリスト講師室
経済担当 小川 義仁

1. 2次経済への対策

- (1) 経済理論の学習～1次で学習した基礎理論の復習
- (2) 現実経済の変遷～90年代以降の世界経済情勢について
- (3) 時事的な視点
～今日的なテーマの把握

(例)・少子高齢化と社会保障

- ・企業部門のリストラクチャリングと国際競争力
- ・労働市場の流動化
- ・財政構造改革（財政再建、公的金融改革など）
- ・量的金融緩和の解除とその影響
- ・米国の「双子の赤字」と国際資本移動
- ・中国経済と人民元の行方

等

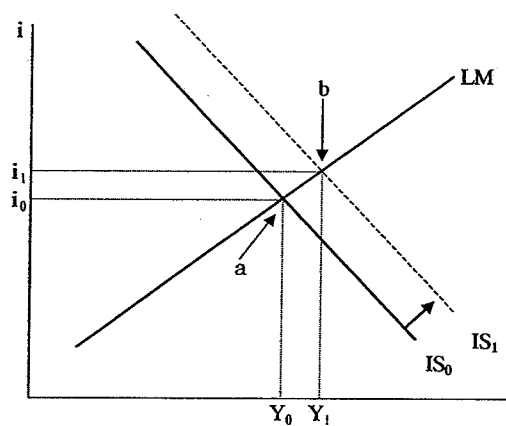
2. 本試験の論点（例）～昨年の出題内容について

論点：財政政策と財政赤字

- ① IS-LM 分析で財政政策を実施した場合、利子率と国民所得はどのように変化するか、図示しなさい。
- ② 財政政策が景気対策として効果をもたなくなるケースを説明しなさい。

解説

① IS-LM 分析による財政政策の効果



② 財政政策が景気対策として効果をもたなくなるケース

- ・ クラウディング・アウト（民業の圧迫）
- ・ 中立命題（異時点間の視点）

《参考》 過去の出題一覧および重要度

	13 年度	14 年度	15 年度	16 年度	17 年度	重要度
マクロ経済学						
IS-LM分析		○			○	B
AD-AS分析	○	○	○			A
労働市場		○				B
長期分析（経済成長）						B
経済統計の見方	○			○		A
国際金融論						
ISバランス論		○	○	○		A
弾力性アプローチ						C
IS-LM-BP		○	○			A
為替レート決定理論	○	○	○	○	○	A
国際金融統計の見方	○	○				A
金融政策とマクロ経済						
貨幣需要						B
貨幣供給（金融政策）	○		○	○		A
銀行行動（信用割当など）			○			B
景気と資産価格	○		○	○		A
金融統計の見方	○	○				A
ミクロ基礎と金融						
異時点間モデルと応用		○	○	○	○	A
MM理論と応用		○				B
経済動向分析（時事経済）						
日本経済						
景気	○	○	○	○	○	A
投資	○	○				B
消費・貯蓄		○		○		B
物価	○	○	○			A
雇用		○		○		B
財政	○	○			○	A
金融	○	○	○	○		A
国際金融論						
国際収支とマクロ経済		○		○	○	A
為替レートとマクロ経済	○	○	○	○	○	A
国際通貨システム	○	○				B
米国経済						
株価とマクロ経済			○	○		B

1：『経済財政白書』や日本銀行論文などから、時事的な資料・分析等を引用してきたもの。

《参考》 2次試験合格状況

	昭56～ 平12年	13年	14年	15年	16年	17年	合計
	名	名	名	名	名	名	名
証券会社	4,229 (26.2)	238 (14.6)	247 (14.3)	215 (14.1)	180 (11.3)	162 (14.5)	5,271 (22.2)
投信委託	898 (5.6)	33 (2.0)	43 (2.5)	47 (3.1)	47 (3.0)	29 (2.6)	1,097 (4.6)
投資顧問	622 (3.8)	25 (1.5)	34 (2.0)	31 (2.0)	29 (1.8)	26 (2.4)	767 (3.2)
銀行	4,185 (25.9)	567 (34.9)	552 (32.0)	497 (32.5)	514 (32.4)	306 (27.4)	6,621 (27.9)
信託銀行	1,535 (9.5)	173 (10.6)	142 (8.2)	117 (7.7)	111 (7.0)	59 (5.3)	2,137 (9.0)
生命保険	1,690 (10.4)	195 (12.0)	187 (10.8)	150 (9.8)	166 (10.5)	114 (10.2)	2,502 (10.5)
損害保険	512 (3.2)	48 (3.0)	54 (3.1)	48 (3.1)	44 (2.8)	30 (2.7)	736 (3.1)
調査研究所	1,273 (7.9)	39 (2.4)	37 (2.2)	23 (1.5)	24 (1.5)	27 (2.4)	1,423 (6.0)
公認会計士	166 (1.0)	9 (0.6)	10 (0.6)	10 (0.7)	14 (0.9)	8 (0.7)	217 (0.9)
その他	1,057 (6.5)	299 (18.4)	419 (24.3)	390 (25.5)	457 (28.8)	355 (31.8)	2,977 (12.6)
合 計	16,167	1,626	1,725	1,528	1,586	1,116	23,748
[合格率%]	[42.3]	[36.8]	[40.8]	[39.2]	[45.4]	[37.2]	[41.5]
女性	809	96	127	93	106	102	1,333
大学生	30	26	42	45	53	49	245

受験者数	38,207	4,422	4,228	3,901	3,496	2,999	57,253
------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

(出所) 日本証券アナリスト協会HP